

自殺予防には 語り合い大切

五所川原で北東北民間団体交流会

講演や 分科会 活動の 在り方 探る

北東北自殺予防民間団体等活動交流会が17、18の両日、五所川原市と鶴田町で開かれ、県内外から集まった約1700人が講演や公開討論会、分科会を通し、自殺防止に結び付ける活動の在り方を模索した。

交流会は特定非営利といわれる北東北3県活動法人ほほえみの会（藤林百合子理事長）の主催。自殺率が高い

五所川原市で開かんは「資本主義のシス
テム自体が地域、家族
ふるさと交流圏民センにできてい。そのひ
ターオルテンシアで、
県立美術館舞台芸術総
監督の長谷川孝治さん
が講演した。
自殺予防演劇を手掛
け、上演する長谷川さ



死について語る場の大切さを訴えた長谷川さん

「ケースション」と、自殺予防におけるコミュニケーションを実験も織り交せて説明した。

実験は参加者を2人1組にして、目を閉じた相方に手を触れず言葉だけで導くもの。長谷川さんは実験から、信頼関係の重要性和相手が身になる想像力が合う機会を増やすことが大事」と語った。